



学びのアップデート
Learning Updates

- **デジタル教材リリース ～GIGAワークブックとうきょう～**
- **「都立学校オンライン学習デー」始めました**
- **学校と保護者との連絡手段にデジタルを活用してみましよう**
- **個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を考える。「デジタルを活用したこれからの学び」**

■ 一人1台端末の活用が進んできた先生方の思い

端末を学習に活用できてきたけれど、
友達の写真を勝手に撮るなどの
トラブルも消えないね。

学期に1回の情報モラル教育では
足りないなあ。
何かいい教材ないかな。



一人1台端末の活用が進み、**先生たちは新たな悩み**を抱えているのではないのでしょうか？
次のページでそんな悩みを解決する教材を紹介します！



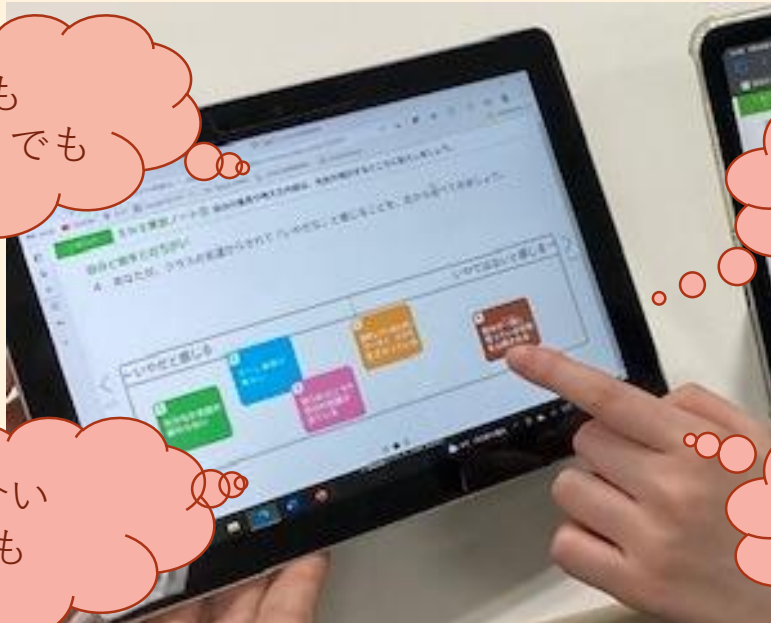
新しい情報モラル教材「GIGAワークブックとうきょう（旧SNS東京ノート）」を活用しませんか。



「SNS東京ノート」の内容に加え、「共有」「つくる」「考える」などを盛り込んだ端末を正しく活用するための**デジタル教材**です。

一人1台の学習者用端末からアクセスして学習に取り組むことができます。

カード教材をドラッグして、画面上で並び替えるコンテンツなどがあります。



いつでも
どこでも

協働学習
にも

話合い
にも

自宅でも

「GIGAワークブックとうきょう」

ビギナー版（小学校1・2・3年生対象）

スタンダード版（小学校4・5・6年生対象）

アドバンスド版（中学生・高校生対象）

（「アドバンスド」の電子版は令和6年度公開予定）


さらに詳しく紹介します。
次へ！




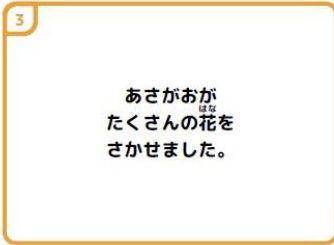
情報活用と情報モラルをセットで学ぶことができます。

じょうず 上手なデザインの方ほうをまなぼう

クラスメイトに、あさがおのせい長の様子をしょうかいします。
どのスライドがたわりやすいでしょうか。たわりやすいじゅんにならべましょう。

1  5日後 1ヶ月後 2ヶ月後

2 

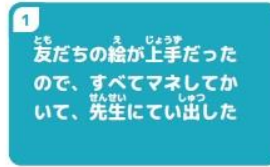
3  あさがあが
たくさんのお花を
さかせました。

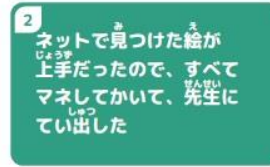
何まいかの写真をのせたスライド 写真だけをのせたスライド 文字だけで説明したスライド

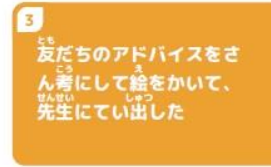
効果的なデザインなど情報活用について学んだ後に、

つくり 情報モラル マネしてもよいのかな

図工のじゅ業で、絵をかくことになりました。
次の3つの行動を、「○問題はない」「×問題がある」にわけてみましょう。

1  友だちの絵が上手だったので、すべてマネしてかいて、先生に提出した

2  ネットで見つけた絵が上手だったので、すべてマネしてかいて、先生に提出した

3  友だちのアドバイスをさん考にして絵をかいて、先生に提出した

著作権など、関連する知識を学んだり、
情報モラルについて考えることができます。

活用例

- 教科等の授業の中で、本教材を10分から15分間学習
- 朝学習で使用

0分

1 単位時間

15分間



情報モラルは外部の専門家が教えるもの、と思っ
ていませんか。
教材を活用して自分の授業の中に取り込んでみま
しょう。

情報教育ポータル「とうきょうの情報教育」に
教材と活用の手引きを掲載しています。

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/snsnote.html>



「都立学校オンライン学習デー」始めました！

今年度から始まりました！ 都立学校オンライン学習デー

教員や児童・生徒の双方が、非常時にオンライン学習を円滑に実施できるように平時において訓練するため、都立学校では、年に1回、オンライン学習デーを実施します。

既に実施した都立X高校での取組みを紹介します。

当日の様子

画面共有やアプリを活用した双方向の学習が48.8%。カメラを使って授業を配信していたのが50.4%。

オンライン上でも意欲的に学習に取り組む生徒の様子が見られた。



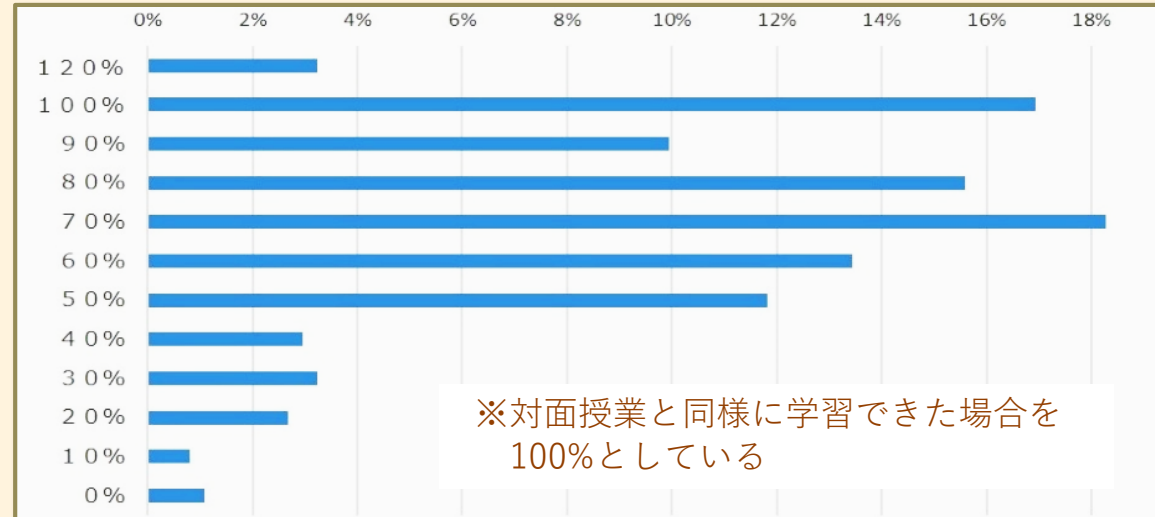
校内における配信の様子

実施後の声（生徒・教員）

- 先生の話が中心になると思っていたが、考えたことを共有・提出することがほとんどで、普段の授業と同じであった。（生徒）
- 普段は意見が言えないこともあるが、チャットに書き込む形式なので、はっきり意見が言えた。（生徒）
- 年度当初のタイミングは、生徒・教職員ともに Teamsを使用することの確認ができてよかった。（教員）

実施後のアンケート（生徒・教員）から

【生徒への質問】 対面学習と比べて、どの程度学習できたか。



オンライン学習について肯定的にとらえる生徒が多かった。一部、通信環境の不具合や、集中力が続かないという意見もあった。

教員からは、緊急時に学びを継続するための訓練を行うことができたとの意見が多かったが、実技教科では学習指導が実施しづらいという声もあった。

工夫して配信した先生方、お疲れ様でした。
これから実施する学校は、どうぞ参考にしてください。



予約スケジュール機能を活用した日程調整方法

学校と保護者との連絡手段をデジタル化することは、確実なコミュニケーションが図られるだけでなく、教員の負担軽減と保護者の利便性向上につながります。

中央区立の小・中学校の保護者面談の日程調整等で使っている「Googleカレンダーの予約スケジュール機能を活用した日程調整方法」を紹介します。

保護者



予約時間を選択

2023年5月 < >

日	月	火	水	木	金	土
29	4	5	6	7	8	9
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

	火 16	水 17	木 18	金 19
午後2:30		午後1:30	午後2:30	午後2:30
午後3:00	午後3:00	午後2:00	午後3:00	午後3:00
午後3:30		午後2:30	午後3:30	午後3:30
午後4:00		午後3:00	午後4:00	午後4:00
午後4:30		午後3:30	午後4:30	午後4:30
-		午後4:00	-	-
-		午後4:30	-	-

Google カレンダーの予約スケジュール機能が使用されます
使用にあたっては Google プライバシーポリシーと利用規約が適用されます。

QRコードを使って、通勤中に連絡できて便利！

教員

教員間で共有できて便利！



予定表を作成する手間が省けた！

	日 14	月 15	火 16	水 17	木 18	金 19	土 20
10時							
11時							
12時							
13時							
14時							
15時							

「個人面談予約状況」

こちらの機能は、Googleカレンダー以外でも利用可能です。以下のURLも参考になります。

https://www.mext.go.jp/content/20210513-mxt_zaimu-000014852_2.pdf

(注) こちらを実施するためには、保護者用のアカウントが必要になります。



令和5年4月3日付5教総策121号により指導資料「デジタルを活用したこれからの学びの提案」を各区市町村教育委員会と都立学校に送付しました。

このデジタルリーフレットでは、教師が一方的に指導事項を伝達する指導ではなく、**子供が主語となる授業づくり**等について提案しています。

今後、**子供が自ら学び方を選択し、自立した学習者となることを目指した授業**が行われるように、この「学びのアップデート」では、様々な取組を紹介していきます。

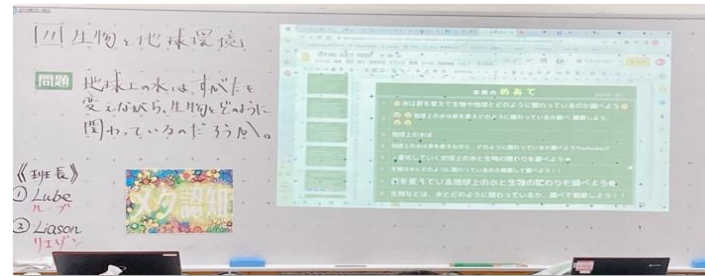


授業づくりを工夫している群馬県のM小学校に行ってきました！

参観したのは、第6学年理科の授業。

特長的なのは、教員が一方的に話し、子供が板書を写すという**一斉講義型の場面が一切なかった**こと。子供たちは、学習問題を解決するために、自ら定めた学習計画に沿って、調べ学習を進めていました。

子供に学びを任せ、教員が見取りと支援に徹する授業づくりを進めた結果、主体的に学ぶ子供の姿が見られるようになりました。



冒頭、各グループは本時に取り組む学習問題を書き込みます。



教員は、個々の学習状況を端末で見取り、個別に支援します。

「とうきょうの情報教育note」はじめました。「デジタルを活用したこれからの学び」に関する情報を発信していきます。

https://note.com/t_info_education

New!



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第16号 令和5年6月22日発行 東京都教育庁総務部教育政策課